



里山たより

Vol.264

里山クラブ可児

2022年8月1日発行
発行所：里山クラブ可児
発行人：堤 喜治
編集人：柿元 章吾

水プロ | 7月6日 | 参加者：14名

台風、大雨の予報に反して、くっきりとした夏空快晴。田んぼの水草もどんと成長しています。この前、取ったばかりだというのに、またまた本日も田んぼの水草取り作業です。泥だらけになる仕事ですが、女性会員2名も果敢に田んぼの水草に挑んでいます。

午後からは、田んぼまわりの電柵下を中心に草刈及びビオトープ池のガマ、菖蒲の除去を行いました。



▲参加者総出で行う水草取り

また、8月のイベントで行う、竹筒はんごうの焼き火台をドラム缶を切断し、永井副代表が作ってきてくれました。



▲ドラム缶の焼き火台

水プロ | 7月13日 | 参加者：17名

雨模様が続く天気予報だが、なぜか本日のみ、目の覚めるような快晴！湿度高し。

そんな日ですが、奥村さん入谷さんのご紹介で、3名の方が見学に来ていただきました。



▲竹藪で竹取物語

▲午後の作業も水草取り

この日の作業は、今週末に行われる可児市政40周年記念「そうだ！地区センターへ行こう！」のイベント準

備で「竹行燈作り」の竹を取りに行くメンバーと、引き続き田んぼの水草取りを行うメンバーに別れて行動。午前中の田んぼの水草取りは、3名の女性会員が行ってくれました。



▲見学の方3名に管理棟で説明する堤代表



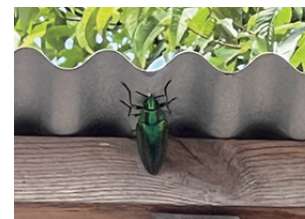
▲作業のご褒美に冷えたスイカ！



▲頼もしい見学の男性2名



▲どうしてこんな色を纏ったのか



▲屋根へよじ登ろうともがく玉虫

午後からも竹行燈準備チームと田んぼの水草取りチームに別れて作業しました。田んぼの水草取りは今シーズン完了です！

特筆すべきは、午後から日差しも強くなり我田の森名物「タマムシ」の乱舞、乱舞、乱舞。

大きなサイズのタマムシを20匹以上確認しました。夢工房広場にあるケヤキやエノキの葉が好物で、毎年この時期に元気な姿を見せてくれます。



▲本格的な夏のシーズンを迎える森

Let's go チクセン | 7月16日 | 参加者：9名

可児市の市政40周年記念事業『Let's go チクセン』地区センターへ行こう！の講座に里山クラブ可児が参画し、「里山の材料でクラフト作り講座」を久々利地区センターで開催しました。内容は①竹行燈（竹あかり）②竹ガエル③ガリガリプロペラ④葉っぱのバッタ。以上4種を参加親子に作ってもらいました。9時から11時30分の間に、4家族11名の参加者が、すべてのクラフト作りを体験することができました。



▲新入会の女性会員もプロペラ職人



▲竹行燈（竹あかり）作りはいつも大人気



▲可愛い「竹ガエル」は素朴が魅力



▲シュロの葉っぱで作るバッタ

例会 | 7月17日 | 参加者：10名+こ庭2名

集合時間には雨。雨をものともしない強者会員が集結。さすが、森のようちえんの参加者は、悪天候には鍛えられています。幸い、次第に天候は回復し午後には快晴に。



▲蒸し暑く不快指数100%の中、草刈精をだすこ庭のパパ

午前中は、草刈に汗を流しました。また、新入会の武知さん（加茂農林教諭）も訪れ、来週の例会に部活動の生徒を我田の森に連れて来るとのことで下見をしてもらいました。その中で、ツブラジイの立派なバンコンやマテバシイの大木は、このあたりではかなり珍しいと評価してもらいました。



▲今年が多いような。。。マムシ

水プロ | 7月20日 | 参加者：14名



▲このところ草刈の写真が多いですね

雨続きのはずが、活動日に限って好天に恵まれ嬉しいやら楽しいやら？田んぼの畦道を中心に草刈天国です。この日は、夜勤明けや有休取得で活動参加組もおり、ありがたいです。おかげで、畦道はきれいになりました。

午後からは、キショウブ駆除の追加作業と放置したキショウブを片付ける作業。こちらもきれいになりました。



▲水路の最下流もきれいに整備



▲キショウブの球根を片付けます

稲も順調に育っています。稲穂に花が咲き始めました。いよいよ、カモシカ対策のトラロープ張りをしなければ。



▲可愛い花をつけた稲穂

名城大学 | 7月21日 | 参加者：5名

この日は、名城大学都市情報学部の学生さん9名が小池教授と共に、里山整備実習を行いました。会員5名がサポートで参加。9時半から12時までみっちりと同伐伐を体験。単に山の木を切るだけではなく、工夫や体力があることを身を持って体験していただけたと思います。



▲作業内容の打ち合わせ風景



▲除伐からチップ作業まで



▲細い木も簡単には倒れてくれない

例会 | 7月24日 | 参加者：22名

天気は晴れ、暑かったです！

作業内容は、芝生広場の芝刈り、農機具小屋回りの草刈り、稲の取入れ、稲架掛け準備で檜の木の伐採採取、中電伐採木ゴミの後かたづけ。

また、新規に入会の武知先生（加茂農林教諭）と共に生物調査（植物）に今泉さんはじめ若手女子会員2名及び名城大研修生が参加。多様なスキルを持つ会員の参加で、活動により深みが増してきました。



▲森の植物観察を行う会員と先生の武地会員

その他、女子会員と間下会員による8月11日開催の「森の学校」の竹はんごうで炊く竹ご飯のリハーサルと、盛りだくさんの活動。竹ご飯も上手に炊けました、キーマカレーも美味しく頂け、これで当日も、安心ですね。



▲竹はんごうも美味しく炊けました ▲絶品キーマカレーの試食会

水プロ | 7月27日 | 参加者：10名

梅雨末期のような天候不順が続くこの日は、朝から雨が降ったり止んだり、お昼には豪雨と雷の後、快晴という天候でした。

午前中は、田んぼのカモシカ対策のトラロープを張る杭となる竹を採取に近くの竹藪まで行きました。60本近く採取しましたが、多人数で行うため効率よく採取。



▲竹藪で手頃な太さの竹を採取



▲杭となる様に加工する大鹿・大見会員 ▲チェーンソーの目立工具を導入



午後からは、照りつける日差しでサウナの中のような気候。杭打ちとトラロープ張りは大変な作業でしたが、私たちやりきりましたあ！



▲田んぼの周りに60本の杭を打つ



▲トラロープを張る

こどもの庭 講座 | 7月23日 | 参加者：30名

里山クラブ可児のパートナーでもある森の幼稚園「一般社団法人こどもの庭」が、今年度から我田の森で小学生を対象に「里山いきもの講座」を開催しています。

講座名/里山の生き物講座 主催/こどもの庭
講師/環境学習塾 ビオガーデンウィズ

宮田賢輔氏 (<https://biogardenwith.com/>)

今回は夏休み特別講座として夜の我田の森に住む生き物に会いに行きました。



▲ライトトラップに集まる昆虫を観察する参加者

森のステージ下の駐車場にライトトラップを設置し、なぜ生き物には光が必要なのか？そもそも光って何？なぜ昆虫は光に集まるの？光に集まる昆虫たちの習性を学びながら、実際にどんな昆虫が集まってくるか、ワクワクしながら待ちました。

夜もふけ、あたりが真っ暗になってくるころ、カナブンや、ノコギリカミキリ、コクワガタ、たくさんの蛾やバッタたちが集まってきました。

■7月度の我田の森への入山人数

1. 里山クラブ可児会員 101人 (累積:372人)
2. 自然育児こどもの庭 (親子) 176人 (累積:640人)
3. 講座 0人 (累積:103人)
4. 行事 11人 (累積:51人)
5. 外部団体 (こ庭父兄 / 見学者 / 名城大学) 14人 (累積:58人)
6. 協力団体 0人 (累積:16人)

■8月度の活動予定

1. 例会：21日(日)、28日(日)
講座準備、芝生広場の保全を予定
2. 水プロ：3日(水)、10日(水)、17日(水)、24日(水)、31日(水)
田んぼの畦保全、田んぼ周りのロープ張り、田んぼ周辺の草刈り、水路の保守作業
3. 講座：森の学校(夏)8月11日(木/祝)
4. 行事：特になし

■新規入会者：河合 秀明さん、村上学さん

クワガタが集まる時間はもう少し遅い時間ということで、ヘッドライトをつけて迷子にならぬよう気をつけながら少し森を散策しました。上までは全員でいくのは危険なため子どもたちは展望デッキ前で待機。その間に宮田隊長(講師)がさくらんぼの木のある付近で普段昼間はスズメバチがいて近寄れない木でクワガタ搜索。すると、大きなヒラタクワガタ、ノコギリクワガタなど4匹を手にとり、子どもたちは大興奮でした！



▲クワガタの捕獲に成功！

今回は貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました！我田の森の夜はとっても暗くて少し怖くなる子や眠たくなる子もいましたが、この静かな夜の森に住む昆虫たちの世界を少しみせてもらい、ドキドキワクワク、また新しい学びを得ました。(こどもの庭 藤川)

夜のライトトラップ、楽しそうですね。私たちも体験してみたいなと思いました。

令和4年度の累積入山人数：1,240人